



## Banco de Tokyo-Mitsubishi UFJ Brasil S/A

Treasury Department

Av. Paulista, 1274 – Bela Vista

São Paulo, SP – 01310-925

## 1. マーケット・レート

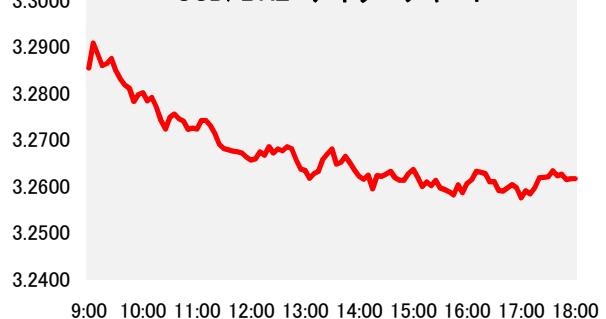
			12月26日	12月27日	12月28日	12月29日	1月2日	Net Chg
為替	USD/BRL	Spot	3.3090	3.3170	3.3130	3.3130	3.2620	-0.0510
	BRL/JPY	Spot	34.20	34.15	34.10	33.97	34.39	+0.42
	EUR/USD	Spot	1.1862	1.1895	1.1950	1.1993	1.2054	+0.0061
	USD/JPY	Spot	113.17	113.27	112.87	112.50	112.25	-0.25
金利	Brazil DI Future	6MTH(p.a.) 1Year(p.a.)	6.682 6.863	6.678 6.882	6.660 6.895	休場 休場	6.638 6.816	-0.022 -0.079
	On-shore USD	6MTH(p.a.) 1Year(p.a.)	2.463 2.662	2.421 2.679	2.428 2.668	休場 休場	2.410 2.670	-0.018 +0.002
株式	Bovespa指數	75,707.75	76,054.88	76,402.06	休場	77,891.06	1,489.00	
CDS	CDS Brazil 5y	161.50	163.02	162.63	162.28	156.84	-5.44	
商品	CRB指數	190.474	191.470	193.042	193.286	194.716	+1.43	

\* これらはインターバンク市場等におけるブラジル市場終了時のインデイケーションです。実際のレート提示は弊行担当アカウント・オフィサーまでお問い合わせ下さい。

## 2. 主要経済指標

イベント	予想	実績	前回
FGV CPI IPC-S	0.23%	0.21%	0.27%
マーキット・ブルジル PMI 製造業	--	52.4	53.5
貿易収支(月次)	\$4200m	\$4998m	\$3546m
総輸出	\$17064m	\$17595m	\$16688m
総輸入	\$12829m	\$12598m	\$13142m
(米)マーキット米国製造業PMI	55.0	55.1	55.0

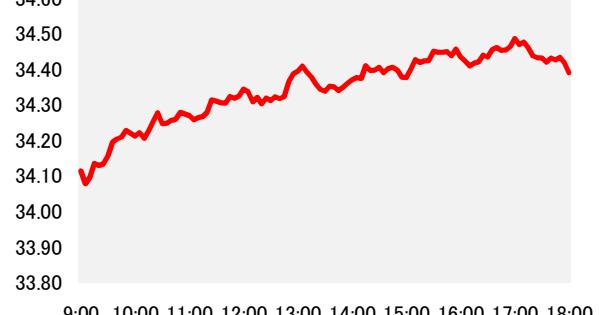
## USD/BRL デイリーチャート



## 3. 要人コメント

なし	
----	--

## BRL/JPY デイリーチャート



## 4. トピックス

- 本日のレアルは、日中安値となる3.2910で寄り付いた。前日に中国の12月製造業PMIの結果が市場予想上回ったことを背景に新興国通貨全般が対ドルで買われる中、レアルは上昇。取引終盤には約一か月ぶりの高値となる3.2580を付けた。結果3.2620でクローズ。
- 本日発表されたブラジル中銀によるアナリスト予想集計では、経済成長率予想は2017年が0.98%から1.00%に、2018年は2.68%から2.70%にそれぞれ上方修正された。インフレ率予想は2017年が2.78%、2018年は3.96%で据え置き。2018年末の為替レートは3.32から3.34へレアル安方向に修正された。
- 本日発表された12月の伯貿易収支は予想を上回る黒字額となり、2017年の貿易収支は過去最大の黒字額となった。
- ボスパ指数は寄付きから上昇。7日続伸し、終値ベースで過去最高値を更新した。

当資料は一般的な情報提供の目的として作成されたものであり、特定のお客様のニーズ、財務状況又は投資対象に応応することを意図していません。また、当資料は、適用法令上許容される範囲内でのみ利用可能であり、当資料の頒布を制約する法令が存在する地域の方によって利用されることを意図していません。当資料内のいかなる情報又は意見も、預金、有価証券、デリバティブ取引その他の金融商品の売買、投資、保有などを勧誘又は推奨するものではありません。資料は信頼できると思われる情報に基づいて作成されていますが、当行はその正確性、適時性、適切性又は完全性を表明又は保証するものではなく、当行、その子会社又は関連会社は、お客様による当資料の利用等に関して生じうるいかなる損害についても責任を負いません。ご利用に関しては、すべてお客様御自身でご判断下さいますよう、宜しくお願い申し上げます。また、過去の結果が必ずしも将来の結果を暗示するものではありません。当資料の内容は予告なしに変更することがあります。また、当行、その子会社又は関連会社は、当資料を更新する義務を負っておりません。また、当資料は著作物であり、著作権法により保護されております。当行の書面による許可なく複製又は第三者、個人顧客もしくは一般投資家への配布することはできません。